

THEME

新しい装置 NEW OBJECTS & GADGETS

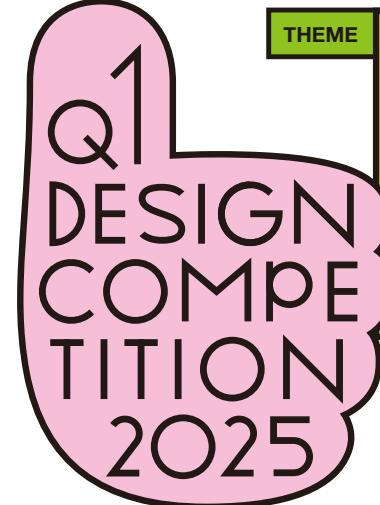
IN COLLABORATION WITH
MIYOSHI INDUSTRY CO., LTD.

Q1 デザインコンペティション

Q1
DESIGN
COMPETITION
2025

YAMAGATA
CREATIVE CITY CENTER
Q1
Q1 DESIGN
COMPETITION 2025
ENTRIES ACCEPTED FROM:
12:00 DECEMBER 22, 2025
ENTRY DEADLINE: 17:00 FEBRUARY 23, 2026
FIRST SCREENER: EARLY MARCH 2026
FINAL SCREENING: MARCH 18, 2026
YAMAGATA CENTER Q1, CREATIVE CITY

Q1 デザインコンペティション



THEME

新しい装置
NEW OBJECTS & GADGETS
IN COLLABORATION WITH
MIYOSHI INDUSTRY CO., LTD.

人間は、いろんな装置をつくってきた。

役割のある装置もあれば、ない装置もある。

生活を便利にする装置もあれば、見られるだけの装置もある。人を美しく見せるための装置もあれば、人を傷つけてしまう装置だってある。複雑な装置もあれば、簡単で素朴な装置もある。動く装置もあれば、動かない装置もある。

「新しい装置」を考えてほしい。

条件は、実際につくれること、販売できること、みよし工業がつくりたくなること、誰かが驚いたり、喜んだり、愛したりできること
まだ見ぬ装置を創造し、世界に問うてみてほしい。

■テーマ 「新しい装置」

■各賞 最優秀賞(1点): 30万円
優秀賞(2点): 各10万円
Q1賞(2点): 各5万円

(※最優秀賞作品は製作会社の協力のもと商品化を予定しています) (※賞金は商品化する場合の開発費を含みます) (※応募内容によっては「該当作品なし」とさせていただく場合がございます) (※賞金は源泉税、復興特別所得税などの税金を控除した金額をお支払いします)

■応募資格

企業、団体あるいは個人やグループ、年齢、性別、職業、国籍は問いません。ただし、「公開審査(2026年3月18日予定・山形市内)」にてプレゼンテーションできる方に限ります。(※交通・渡航費、宿泊費の実費は、各自負担をお願いいたします)

■応募点数

制限なし(※応募作品は国内外未発表のものに限る)

■スケジュール

【応募登録】2025年12月22日(月)12:00～2026年2月23日(月・祝)17:00まで(※締切厳守)
【提案書提出】2026年2月16日(月)9:00～3月2日(月)17:00まで(※締切厳守)

【一次審査】2026年3月初旬・非公開(※審査結果は一次審査通過者にのみメールにて通知)

【公開審査】2026年3月18日(水)※予定・一次審査通過者に別途通知(※応募者が審査員に対し公開プレゼンテーションを行ない、即日各賞が決定します)

■提案書提出

応募フォームにて応募登録の後、提出期間内に以下の内容の提案書を提出ください。提案書は、A3サイズ横1枚に下記をまとめ、メールでのデータ提出とします。(※提出先メールアドレスは、応募登録後にお伝えします)/1.コンセプト/2.図面(平面図・立面図・側面図・断面図等)/3.寸法表記/4.仕様表記(材料・塗装・仕上げ等)/5.その他必要な情報(※使用言語は日本語とすること)※応募者が特定できる名前、団体名、記号等は提案書に記載しないこと※提案書のデータ容量は5MB以下とし、PDFデータに変換して提出すること)

■応募登録方法

右の二次元バーコードを読み取り、Webサイトにアクセスしてください。



Q1

YAMAGATA
CREATIVE CITY
CENTER Q1

■審査員

山田遊 (ハヤシ)



やまだ・ゆう／株式会社メソッド代表取締役／東京都出身。南青山のIDÉE SHOPのバイヤーを経て、2007年、method(メソッド)を立ち上げ、フリーランスのバイヤーとして活動を始める。現在、株式会社メソッド代表取締役、武藏野美術大学造形学部工芸工業デザイン学科客員教授、TOKYO MIDTOWN AWARD審査員。国内外の店づくりを中心に、あらゆるモノにまつわる仕事に携わり、多岐に渡って活動を続ける。2013年「別冊Discover Japan暮らしの専門店」が、エイ出版社より発売。2014年「デザインとセンスで売れるショップ成功のメソッド」が、誠文堂新光社より発売。

宇南山加子 (テツヤ)



うなやま・ますこ／株式会社SyuRoを主宰。国内外の生活日用品のプロダクトデザイン、空間デザイン、店舗をはじめ、ホテルやレストランなどのデザインディレクションを行いながら、オリジナルブランドとインテリアギャラリー「SAMNICON」を運営している。「作務(SAM)」と「而今(NICON)」を由来に、いまこの瞬間に丁寧に生き、日々の営みを美しく整えることをテーマとする。太陽・風・水・土・木など自然の力を暮らしに取り込み、少ないエネルギーで循環する豊かな生き方を探求。デザインやものづくりを通して、人と自然、時間と空間の関係を見つめ、「在るを活かし、生かす力」を伝えている。職人との協働を通じ、次世代へつながる持続可能で意味のある暮らしの文化を育んでいる。

坂井直樹 (金工作家)



さかい・なおき／東北芸術工科大学准教授/1973年生まれ。2003年東京藝術大学大学院美術研究科博士後期課程修了、博士学位取得。2005～08年金沢卯辰山工芸工房にて技術研修。2013～18年同工房専門員を経て、2019年より東北芸術工科大学にて指導にあたる。「用」と「美」の視点から、現代空間に調和する工芸作品を展開。2003年野村美術賞、2012年美術工藝振興佐藤基基金淡水翁賞、2017年日本伝統工芸工展朝日新聞社賞、2018年フンボルトフォーラム茶室デザインコンペ最優秀賞など多数受賞。

小板橋基希 (テツヤ)



こいたばし・もとき／株式会社アカオ二代表/1975年群馬県生まれ。大学入学とともに山形に移住し、東北の「自然・暮らし・遊び・食べ物」に魅せられ卒業後も山形に定住し、2004年〈アカオニ〉設立。以来、グラフィックデザインからWeb、写真、コピーワークなどあらゆるクリエイティブを駆使するデザインチームとして、ブランディングや商品開発や広報に至るまで、全国津々浦々に点在するクライアントの様々な要望に応えている。現在も山形市にて「アカルく、すなオニ」営業中。

斎藤栄作 (板金職人)



さいとう・えいわ／みよし工業有限会社代表取締役/地元山形の工業高校、埼玉の大学を卒業後、自動車関係の会社で生産ラインの企画、設計に従事。2011年に家業の板金屋であるみよし工業へ入社。2014年同社代表になる。2024年からデザインの専門学校でインテリア、家具のデザインを学ぶ。みよし工業では建築、製造、医療他、幅広い分野の設計を担当。